

『新・高校生の美術1』準拠課題レポート

はじめに

この課題レポートは、生徒自身が教科書を読み解き、その内容に主体的にコミットして、自ら学びとっていくことを目的に編集しました。学習指導要領に準拠した『新・高校生の美術1』は3本の柱に基づく学びの目標を教科書紙面に明記している美術教科書です。生徒には、この教科書を第二の先生として、美術の学びの道しるべとして活用し、生活と社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育んでほしいと思います。

課題について

この課題レポートは、かたわらに教科書を置き、それを読みながら解いていくものです。決して暗記的な知識を問うものではありません。生徒には、課題に答えながら、自分がこれまで気づいていなかった価値観に気づいてほしい。その価値観であらためて自分の周りの世界を捉えたと、見方・感じ方が変わってきます。そういった気づきによる変化を実感することが美術の学びの喜びなのではないでしょうか。

課題の種類

この課題レポートには5種類のレポートが含まれています。「絵画・彫刻①」「絵画・彫刻②」「絵画・彫刻③」「デザイン①」「デザイン②」の5種類です。それぞれについて約20～30問の問題が含まれていますが、内容は自由に変更が可能です。先生側でカスタマイズして、独自の課題レポートに構成してください。問題の取舍選択、配点の設定も自由です。シラバス、学校、先生、生徒の状況に合わせて活用できます。また、各問題が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの評価規準のどれに関連する問題かを明記しました。評価の際の参考にしてください。

各問題は選択式、筆記式、記述式の3種類に分かれています。選択式は囲みの中の選択肢からふさわしい語句やテキストを選ぶ問題、筆記式は教科書から作品名や語句などを抜き出して答える問題、記述式は100～200字程度の短い文章で答える問題です。選択式と筆記式について、併記できるものは、同一問題の選択式と筆記式を用意しています。一般的に、取り組みやすさ、答えやすさの面では、選択式の方が難易度は下がります。現場の状況に合わせて、選択してください。

問題の難易度

それぞれの問題は、難易度に4段階の傾斜をつけています。

難易度1:教科書のタイトル、ポイント、主文、作品の解説などのテキストを、ほぼそのまま使用した穴埋め的な問題や選択問題などです。教科書をよく読めば解答できます。

難易度2:教科書に掲載されている内容を、別の作品や言葉などで説明したものを読み解くような問題などがあります。教科書の内容を理解していれば解答できます。

難易度3:多くは、教科書に具体的に掲載されていない作品や内容などを、教科書の内容とマッチングさせるような問題です。教科書の内容を理解して、応用的に検討することで解答できます。

難易度4:教科書には具体的な答えが記されていないような問題です。その題材の見方・考え方を理解して、自分のこれまでの経験などと照らし合わせて、作品やデザインなどを読み解き、発展的に考えることで解答できます。

難易度は各問題の設問の最後に記述してあります。これを規準に取捨選択し、現場の状況に合わせて、難易度を調整して課題設定を行うことができます。難易度の表記は問題を作成する際には削除してもよいでしょう。

設問の設定について

この課題レポートは、現場の状況を見て、先生方が自由に改変して使用することを想定したファイルです。5種類の各課題レポートには全て、赤字で解答が記入されています。生徒用に解答用紙を作成する際には、解答は削除してください。また、この課題レポートは、日本文教出版のオフィシャルサイトより誰でも入手可能なデータです。そのため、解答の順番や選択肢の記号の順番なども変更した上で使用することを、強く推奨します。各問題の設問の最後に赤字で記述した難易度についても、特に必要がなければ、削除することをおすすめします。難易度について生徒に説明をする場合には、赤字を黒字に直してご使用ください。

課題レポートの画像や図版について

各課題レポートに掲載されている画像は、縦10cm程度までの拡大に対応できるよう、解像度を高めに設定しています。そのため、書類全体としてのデータサイズが少し大きくなっています。データが重くPCの動きが遅くなってしまうなど、使用に差し支えがある場合は、ワード上で、画像データのサイズを圧縮することも可能です。ワードデータを開き、「ファイル」メニューから「ファイルサイズの圧縮」を選択すると、必要最低限の画像の品質を設定し、圧縮することができます。圧縮した状態で、ワードデータを保存すると、設定に応じてデータサイズが小さくなるはずです。ただし、一度圧縮し保存すると、元には戻せません。元の高解像度のデータを保持したい場合には、圧縮後のデータは「別名で保存」をするなどして、圧縮前と後のデータを別でつくるようにしてください。

また、このレポートは令和8年度において比較的新しいバージョンのMicrosoft Officeで作

成されています。先生方の中には、古いバージョンのOfficeを継続して使用しているという環境の方もいると思います。そこで、今回の資料の中には古いバージョンのOfficeで保存したファイルも含めました。もしも、ファイルが開けない、もしくは開いたファイルのレイアウトが崩れている、などの不具合がある場合には、「doc」というファイルの中に入っているデータを試してみてください。それでも不具合が直らないという場合には、より新しいバージョンのMicrosoftOffice でファイルを開くことをおすすめします。